



前後町長から感謝状の伝達を受けた松本さん(左)

青年農業者育成の功績をたたえ

松本義明さん県指導農業士知事感謝状伝達式

3月31日をもって福島県指導農業士を退任する松本義明さん(幸野)への知事感謝状伝達式は2月9日、町役場で行われ、前後公町長が松本さんに感謝状を手渡しました。松本さんは11年間にわたって指導農業士を務め、トマト栽培など自らの農業経営実務を通じて青年農業者の育成や指導を行ってきました。松本さんは「若い人たちが安心して農業に従事できるよう、地域の特性を生かした農業生産モデルの確立に取り組みたい」と話しました。

県外からの教育旅行誘致を図る

会津磐梯山エリア「エクスカーション」

県外からの教育旅行誘致拡大を目的とした会津磐梯山エリア「エクスカーション」は2月13日から15日まで、猪苗代、磐梯、北塩原の3町村で実施されました。エクスカーションには首都圏や関西地方で教育旅行を取り扱う旅行会社の担当者ら約50人が参加。野口英世記念館やエリア内のスキー場などを視察した後、14日には北塩原村の裏磐梯ロイヤルホテルで商談会が行われ、地元関係者らが熱心に本エリアの魅力を説明しました。



会津磐梯山エリアの魅力を説明する商談会



茶の湯を楽しむ来場者ら

新春を祝い厳かに

青木宗寛社中初釜茶会

茶道裏千家淡交会・青木宗寛社中の初釜茶会は2月5日、学びいなどで開かれました。会場は迎春を迎えるにふさわしい厳かな雰囲気包まれ、参加した青木社中の12人が見事なお点前を披露。会場を訪れた人たちは心行くまで茶の湯を楽しみました。

青木社中の青木宗寛こと青木寛美さんは「毎年恒例の初釜茶会に大勢の人に訪れていただいて大変うれしいです。気軽にお茶を楽しんでいただければ」と話しました。

万が一の冬山遭難に備え

猪苗代地区山岳遭難対策協議会が救助訓練

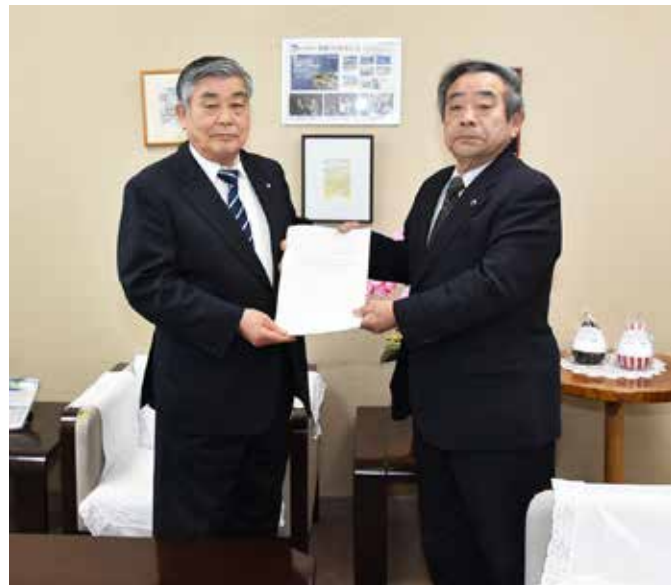
町山岳会、警察署や消防署などで組織する猪苗代地区山岳遭難対策協議会は2月24日、猪苗代スキー場中央で冬山遭難救助訓練を実施しました。訓練には、同協議会の会員22人が参加。万が一の事故を想定し、雪崩に巻き込まれた人の捜索や救助訓練、スノーシューを履いての歩行訓練などに取り組みました。参加者は、救助技術や知識の向上のため、真剣な表情で訓練に取り組みました。



雪崩に巻き込まれたことを想定して訓練する参加者

第七次町振興計画案を

町振興計画審議会が答申



前後町長に答申書を手渡す長沼会長(右)

思いやりの気持ちを大切に

吾妻小学校で人権教室を開催

若松人権擁護委員協議会猪苗代地区は2月20日、吾妻小学校で人権教室を開きました。人権擁護委員と一緒にイメージキャラクターの「人KENまもる君」と「人KENあゆみちゃん」が登場。子どもたちは、みんなの命を守るために、困っていることがあれば誰かに相談することや、他人の気持ちになって思いやることの大切さなどを学びました。また、人権擁護委員が「子どもの人権110番」に電話する方法を丁寧に説明しました。



相談電話の掛け方を説明する人権擁護委員ら

地域福祉への貢献をたたえる

古川稔さんに全国社会福祉協議会長表彰伝達

民生児童委員として全国社会福祉協議会長表彰を受けた古川稔さん(烏帽子)への表彰状伝達式は2月1日、町役場で行われました。式では、前後公町長が「長年にわたり住民の社会福祉向上に尽力いただきありがとうございます。今後ご協力をお願いします」と述べ、古川さんに表彰状を手渡しました。古川さんは、平成7年12月から平成28年11月までの7期21年間、民生児童委員を務めました。



前後町長から表彰状の伝達を受けた古川さん(左)



校庭の遊具などを利用して作られた「森の氷本アート」

旧山潟小学校にしぶき氷が出現

しぶき氷で遊ぶ森の氷本アート

はじまりの美術館「しぶき氷で遊ぶ森の氷本アート^{ひょうほん}」は2月12日、旧山潟小学校で開かれました。山梨県在住の美術家木村崇人さんは猪苗代湖のしぶき氷に着目し、農業用ハウスの骨組みや校庭の滑り台などを凍らせてしぶき氷を再現しました。ワークショップ参加者が描いた「未来に残したいもの」の絵を凍らせて、標本のようにつるしました。また、会場内では、しぶき氷の写真展や親子フリーマーケットなどが行われました。

子どもから大人まで熱戦展開

「スノードリーム 2017」猪苗代綱引大会

「スノードリーム 2017」猪苗代綱引大会は2月26日、カメリーナで開かれました。一般男子、一般男女混合とジュニアの3部門に町内外から合計15チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

主な成績は次のとおりです。【一般男子】①若宮会2②南相馬TC③佐原っ子お助け隊【一般男女混合】①若宮会②行仁綱引クラブ③チーム梨木【ジュニア】①湯川男子ソフトスポ少②猪苗代スポ少A③チビタンスピリッツ



全力を尽くして競技に取り組む参加者

個性を生かした作品を制作

冬の手仕事教室

「冬の手仕事教室」は2月14日、学びいなで行われました。この講座は全5回となっており、今回は3回目の開催です。講座には約20人が参加し、手織り機を使って糸を丁寧に編み上げました。編み上げた布は、最終的にはタペストリーや小物入れなどに仕上げます。講師の佐藤光枝さん(扇田)は「模様はそれぞれの感性に任せています。誤って糸を通して個性的な模様ができるので、失敗を恐れずに制作してほしいです」と話しました。



思い思いに布を織る参加者

子どもたちの活動を支援

猪苗代中・東中に寄付金を贈呈

猪苗代吹奏楽団と実践学園高校合唱部・中野坂上音楽連盟協議会合同の寄付金贈呈式は2月18日、東中学校で行われました。猪苗代吹奏楽団は猪苗代中学校後援会に36,000円を、実践学園高等学校合唱部・中野坂上音楽連盟協議会は東中学校PTAに60,000円をそれぞれ寄付しました。両団体とも、昨年12月に町内や東京都内で開いた東日本大震災復興支援コンサートの会場で寄せられた善意を贈りました。



寄付金を手渡す齋藤直団長(左から4人目)、実践学園中高の関田裕一教諭(右から4人目)ら



1年生の算数の授業で子どもたちの補助を行う稲垣さん(右)

大学生が緑小で学習支援活動

東京学芸大学の学生がボランティア

東京学芸大学2年生の古関真菜さんと稲垣晴菜さんは2月20日から3月3日まで、緑小学校で学習支援ボランティア活動に取り組みました。町と同大学では、6月に「地域連携に関する協定」を締結しており、相互連携を図ることで教育振興の充実を目指しています。

2人の学生は、初日から児童たちの輪に溶け込んだ様子で、担任の先生たちから指導を受けながら、ボランティア活動に熱心に取り組みました。



【VOICE】

古関真菜さん

私は福島市の出身で、母から協定締結のことを聞き、今回のボランティア活動に参加しました。緑小の児童は、全員が素直で目がきらきら輝いています。今回学んだことを貴重な経験として生かしていきたいです。



【VOICE】

稲垣晴菜さん

猪苗代町は豊かな自然に囲まれていて、素晴らしい学習環境にあると感じています。東京では小規模校で教育実習を行うことが難しい状況にあるので、機会があれば、次は教育実習生として訪れたいです。

日本遺産を海外誘客に活用

「会津三十三観音めぐり」台湾人モニターツアー

町など会津17市町村で組織する極上の会津プロジェクト協議会は2月9日から12日まで、日本遺産「会津の三十三観音めぐり」台湾人モニターツアーを実施。台湾から約20人が参加し、日本遺産に認定された会津の名所や観光地などを巡り、各地の文化や魅力に触れました。9日には、ホテルリステル猪苗代で歓迎レセプションが開かれ、前後公町長らが歓迎の言葉を述べました。翌10日は、長照寺を訪れた後、鶴ヶ城などを視察しました。



野口英世博士の菩提寺である長照寺を訪れた参加者ら

子どもたちの教育振興のため

日本生命郡山支社が町にDVD教材を寄贈

日本生命郡山支社は2月15日、町内の6小学校に食育とゴミリサイクルに関するDVD教材各2枚を寄贈しました。贈呈式は同日、町役場で行われ、日本生命郡山支社喜多方営業部の齋藤真由美さんが土屋重憲教育長にDVD教材を手渡しました。齋藤さんは「DVDの映像を通じて、猪苗代町の子どもたちに食の大切さやゴミをリサイクルするための仕組みなどを学んでいただければ」と話しました。



土屋教育長にDVDを手渡す齋藤さん(右)